

令和4年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・ リコーダーや鍵盤ハーモニカ以外の楽器を活用し、1年生から合奏の授業を実施したことで、音楽の学習で大切な「待つこと」「聴くこと」「合わせること」ができるようになってきた。
- ・ 感想や気付きなどを発言させるとき、言葉を補ったり助言しながら促したりすることで、少しずつだがすすんで発表しようとする児童が増えてきた。

(2) 課 題

- ・ 自分の力で楽譜を読むことができず、自分なりの表現を考えて工夫したり、その理由を楽譜の情報をもとに説明したりすることに課題がある。



2 授業改善のポイント

・ 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ いろいろな楽器について奏法などを知り、正しく演奏する技能を身に付けさせるために、楽器にふれる機会を多く設定する。 	・ 楽しく音楽を聴いたり表現したりできるようにするために、発表の機会を多く設定し、演奏の工夫を考えたり、友達の演奏の良さを見つけたりする。	・ 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じることができるよう、学習形態やオリジナルの教材などを工夫する。

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 音楽表現に必要な技能を身に付けさせるために、多様な音楽に触れさせ、音楽の仕組みや楽譜の読み方を身に付けさせるようにする。	・ 良さを見つけて聴いたり思いを表現したりできるように、楽器の音色や演奏の良さに気付かせ、既習事項と関連して新たな知識を得られるようにする。 	・ 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じることができるよう、学習形態やオリジナルの教材などを工夫する。

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 楽曲に合う表現や、表したい音楽表現ができるように、音色や演奏の仕方などの基本的な知識を伝え、個に応じた課題を設定しスモールステップで技術を習得させる。	・ 味わって聴いたり思いを表現したりできるようにするために、言葉で思いや気付きを伝え合ったり、楽譜から情報を得て、それを根拠に表現の工夫を考えたりする場を多く設定する。	・ 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じることができるよう、学習形態やオリジナルの教材などを工夫する。